奈良県高齢者福祉計画及び第6期奈良県介護保険事業支援計画(案)の概要

資料1

■現状と課題

【奈良県の高齢化の状況】
- ○団塊の世代の方々が多く居住
- ○全国平均を上回る高齢化の進展
  奈良県 27.2%　全国平均 26.0%（H26）
- ○高齢化の県内格差が2.7倍
  最大 川上村56.0%　最小 香芝市20.6%（H26）
- ○全国平均を下回る要介護認定率
  奈良県 17.6%　全国平均 18.1%(H25)
- ○全国平均を下回る一人あたり介護給付費
  奈良県 244,546円/年　全国平均 263,005円/年（H24）
- ○全国平均を下回る一人あたり後期高齢者医療費
  奈良県 920,451円/年　全国平均 929,619円/年（H25）
- ○高齢化に伴い認知症高齢者も増加傾向

【県民調査の結果】
- ○「自宅で最期を迎えたい」「介護が必要になったら自宅で受けたい」との希望が多い。
- ○高齢者のみの世帯が多く、家事について将来の不安を抱えている。
- ○認知症の家族のことで悩みを抱える人が多い一方、認知症への備えがされていない。
- ○介護現場では、医療機関から疾患のケアや健康に関する情報提供を求めている。
- ○介護現場では人材が不足している。
- ○健康な人や外出頻度の高い人ほど生活の充実感が高い。

【介護保険制度の改正】
- **○「地域包括ケアシステム」の構築**
  - ・地域支援事業の充実
    在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、地域ケア会議の推進、生活支援サービスの充実・強化
  - ・予防給付（訪問介護、通所介護）の地域支援事業への移行
  - ・特養入所者を要介護3以上に限定
- **○「費用負担の公平化」**
  - ・低所得者保険料の軽減強化
  - ・一定以上所得者の自己負担引き上げ

高齢化の更なる進展への対応　｜　県民ニーズへの対応　｜　介護保険制度改正への対応

■奈良県の高齢者施策

★現在の主な取り組み

○県内すべての市町村における地域包括ケアシステムの構築を推進
- ・「地域包括ケア推進室」の設置(H26.4)
- ・市町村に対する介護保険データの「見える化」支援
- ・モデル事業の実施
- ・地域密着型サービスの普及促進　など

○「健康寿命日本一」をめざした取り組みを推進
- ・介護予防に役立つ健康づくり
- ・高齢者の生きがいづくり　など

○現在の取り組みをより一層推進
○団塊の世代が後期高齢期に達する10年後を見据えた中長期的な視点での計画策定

★第6期計画における施策の展開(平成27年度～平成29年度)

（基本理念）　**高齢者が健康で生きがいをもって活躍を続けられるとともに、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる奈良県をめざす**

＜施策の柱＞	＜施策の方向性と施策展開＞	
地域包括ケアシステムの構築	地域におけるネットワークの整備	ネットワークの整備 地域包括支援センターの機能強化
	在宅医療・介護連携の推進	医療・介護の連携強化 在宅における医療的ケアの推進
	在宅介護サービスの充実	地域密着型介護サービスの普及促進 介護家族への支援
	生活支援サービスの充実	民間事業者等との連携による日常生活支援サービスの充実 高齢者の安全・安心を支えるサポート体制の充実
	認知症高齢者への対応の充実	認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
	暮らしやすい住まいづくり・まちづくりの推進	高齢者の身体の特性に配慮した住まいの充実 高齢者のためのまちづくり
介護人材の確保及び介護保険制度の着実な運営	介護人材の確保、魅力ある介護職場づくり	優れた介護人材の育成・確保 働きやすく、魅力的な介護職場づくり
	介護保険制度の着実・円滑な運営	介護保険制度の着実な運営 介護サービスの充実と質の向上
高齢者の生きがいづくりの推進	健康づくり・介護予防の推進	健康的な生活習慣の推進 スポーツ活動・文化活動の推進
	社会参加の推進	地域社会と交流を図る活動の推進 地域社会に貢献する活動の推進

＜計画の推進に向けて＞

計画推進

県民への啓発
- ・介護保険制度の周知・理解の促進
- ・健康づくり・介護予防の意識啓発
- ・高齢者をみんなで支え合う文化の醸成

市町村への支援
- ・地域のネットワークづくり構築に向けた支援
- ・高齢者の日常生活を支援する体制づくりの支援
- ・モデルプロジェクトの実施、成果のPR等による支援
- ・介護保険制度の円滑な運営に向けた支援